

カリキュラム(計画) 第2回日本語指導研究推進校連絡会・第3回日本語指導研修会

作成者 氏名：今川 美幸

養成・**研修** / **基礎**・専門・支援員 (該当するものに○)

★参照したモデルプログラムNO. (報告書 pp. 207-244) 下線：内容・項目 (pp. 72-76)

日時・場所	2018年8月21日(火)13:30~16:30 時間:167分 於:兵庫県学校厚生会館			
実施団体・機関	兵庫県教育委員会			
研修・授業名	第2回日本語指導研究推進校連絡会・第3回日本語指導研修会			
受講者	<ul style="list-style-type: none"> ・人数:30人・受講者の立場:日本語指導担当者 ・年齢層:20代(0)名 30-40代(20)名 50代(8)名 60歳以上(2)名 ・その他:加配教員9名(日本語指導)、教員11名、管理職1名、日本語指導支援員3人 教育委員会5人、その他1名 			
演題・テーマ☆	DLAでの見取りと個別の指導計画の作成について(基礎知識の習得と実践力を身につける)			
到達目標	DLAの見取りとそれを指導に活かす視点の習得、個別の指導計画が作成できる力を身につける。			
活動展開 (分)	★	形態	留意点	参考資料
導入 外国人児童生徒等の背景の多様性について(10分)	①	講義		
展開 1 外国人児童生徒等の第二言語習得のプロセスについて(50分)	⑩ ⑱	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・第二言語習得の特徴を知る ・生活言語と学習言語について ・母語と日本語力の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメント(文科省) ・CLARINET(文科省)
2 DLAでの見取りの視点を習得する。(45分) ・子どもAの記録を聴く		演習	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもAの背景等の紹介 ・どこに着目すればいいのか(得意・不得意) 	
3 個別の指導計画の立て方を理解する。(10分) ・個別の指導計画例を見ながら	⑱	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・個別性への対応の保障 ・学習の連続性の保障 ・指導内容の選定と組合せ ・指導期間と頻度 	
4 個別の指導計画を立てる。(30分) (1) 子どもAの指導計画を立てる。 (2) 留意点を理解する。	⑱	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・DLAの参照枠を参考に ・着目する視点を身につける ・更新する必要性を実感する 	
5 DLAでの見取り(結果)を教科の指導に活かす方法を理解する。(20分)		講義	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科に活かす視点の習得 	

・例えば国語や社会等で				
まとめ・質疑応答 学んだことを整理する。(2分)				

※途中：休憩 10 分